

令和5年9月13日（水）

「大事の前の小事・・・大事の後の小事」

10日（日）、素晴らしい体育大会ができました。

この成功は、生徒の皆さん一人ひとりが、競技、応援、係で全力を尽くしてくれたからこそだと思います。本当にありがとうございました。

さて、タイトルの「大事の前の小事・・・大事の後の小事」ですが、実際に「ことわざ」として存在するのは、「大事の前の小事」です。この意味は、次のとおりです。

使い方により、二通りの意味をもつことわざ。一つ目は、大きな事を成す前には必ず小さな事があり、その小さな事の積み重ねが重要だということ。二つ目は、大きな事を前にしたら、小さなことなどどうでもよいという意味。

ここでは、一つ目の意味で、皆さんには考えてほしいと思います。

体育大会という「大事」を成功させるためには、一つ一つの種目等の成功、そのための個々の頑張りが大切です。

体育大会で求められていたのは、「自分で考え、行動する」ことでした。言われたことを言われたとおりにするだけなら、そう難しいことではないかもしれません。体育大会の練習、本番を通じて、どれだけの人が、「一人ひとりの役割を自分なりに考え、より良く動く」ことができたでしょうか？各自で振り返ってほしいと思います。

今回、正式な「ことわざ」の後に、造語で「大事の後の小事」と書きました。

大きな行事が終わると、緊張の糸が切れ、これまでできていたことができなくなる場合があります。これは、日頃の小事（あいさつをする、時間を守る、授業に集中する等々）をいい加減に考えていることが原因です。大きなことを成し得た後、小さなことを改めて大切にして生活を送ることが、次の「大事」の成功に繋がります。

改めて、「自分で考え、より良く行動すること」が求められます。

日頃の小さな積み重ね（小事）を大切にして、次の「大事」に備えましょう。